



佐川の未来は君たちに！（成人式）

さかわ *Sakawa* 議会だより

65 2016.2.1

発行 高知県佐川町議会

12月定例会

contents 目次



ルパン御用だ！（えびす祭り）

議会の新しい人事構成	2
請願陳情討論	4
一般質問 ごみ問題裁判	12

10月29日に臨時会が開かれ、副議長や各常任委員長をはじめ、議会の新しい人事構成が決まりました。

安全・安心、福祉向上に 議会としての役割を果たす



副議長
岡村 統正

昨年10月の臨時議会において、多くの議員の皆様により、副議長の要職に選出いただきました。誠に身に余る光栄と同時に身の引き締まる思いであります。町政発展のために微力ながらなお一層努力する覚悟であります。

堀見町政になって3年目、議会は執行部と車の両輪として、町政が円滑に前進できるよう議論を重ねながら努めてまいります。

さて近年、局地的集中豪雨や竜巻による被害が全国的に起きております。本町でも、昨年は集中豪雨がありました。幸いにして大きな被害につながらなかったことは何よりでした。いつ起きるか分からない災害に対し、町民にとって安全・安心な町にすることが大切であります。

今後は、福祉向上、農業振興、商工業振興に、議会として一層取り組みなくてはなりません。皆様方のご指導とご協力を賜りますよう、心からお願いを致します。就任のご挨拶と致します。

議会運営委員会

議会の日程、議案や一般質問の取り扱いなど議会運営を円滑に行うために必要な事項や、議長からの諮問事項を審査します。

委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員
松浦隆起	中村卓司	西村清勇	永田耕朗	片岡勝一	坂本玲子



産業厚生常任委員会

主に産業建設課、国土調査課、健康福祉課、町民課、病院などの所管に関する事項、請願、陳情を調査・審査します。

委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員
西村清勇	片岡勝一	藤原健祐	徳弘初男	岡村統正	松浦隆起
					坂本玲子

総務文教常任委員会

主に総務課、税務課、収納管理課、教育委員会などの所管に関する事項、請願、陳情などを調査・審査します。

委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員
中村卓司	永田耕朗	藤原健祐	今橋寿子	森正彦	邑田昌平
					下川芳樹

12月定例会で決まりました



平成27年度12月補正予算

(単位：円)

会 計 名		補正額	補正後の額
一 般 会 計		△1億1,024万	71億8,308万
特別会計	国民健康保険	54万	20億1,369万
	介護保険	55万	18億2,844万
	後期高齢者医療	△53万	2億616万

12月定例会は、12月4日から10日までの会期で開かれました。
平成27年度補正予算をはじめ、条例改正など議案12件、諮問2件を審議し、採決の結果、賛成全員で全件可決しました。
議員発議による意見書は1件を審議し、可決されました。また、陳情1件、請願1件は否決されました。

人 事

人権擁護委員

宇賀 さよ子 氏
佐川町甲1612番地21

安田 節子 氏
佐川町中組1084番地2

総合計画

第5次佐川町 総合計画の策定

本計画は、平成28年度から平成37年度までの10年間で、佐川町民がより豊かに暮らせるよう、また計画的で持続可能な行政運営を行っていくための具体的な方法等を示した計画を策定。

条例制定

ふるさと納税寄附金基金条例を制定

ふるさと納税により、寄附された寄附金を適正に管理し、運用するため条例を制定。

個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例の制定

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、本町における個人番号の利用について必要な規定を定める。





活用が待たれる西佐川駅と斗賀野駅

JR西佐川駅及び斗賀野駅舎改修工事設計委託料を補正。

財産管理費
302万円

12月
補正予算
ピックアップ

障害者に対する障害福祉サービスの支給対象者の増加に伴う補正。

障害者自立支援事業
1500万円



気軽にご相談を

「森林・林業基本計画」の着実な推進、財源確保、地域林業における課題解消に向けた新たな政策の確立、地域材及び認証材の計画的供給・販売体制の確立を図ること。
地方創生と連動した森林等の保全の推進並びに山村における産業基盤及び生活環境の整備の促進を図ること。

森林・林業政策の推進を求める意見書

意見書
国にも申す
国関係機関に意見書を提出

請願・陳情討論

賛成少数で否決

安全保障関連2法の廃止を求める陳情書

反対討論 松浦議員 この法案は日本が武力攻撃を受けたと同様な、深刻、重大な被害が及ぶ場合に限定されており、憲法9条の枠を超えるものではない。したがって安全保障関連2法の廃止を求める陳情には反対である。

賛成討論 坂本議員 この法律は多くの学者が憲法違反と明言している。憲法9条の精神を生かし子どもたちに平和な未来を残したい。戦争に巻き込まれる恐れのある法は廃止すべきである。よって陳情には賛成である。

伊方原発再稼働を行わないことを求める請願

反対討論 永田議員 福島原発事故は日本の原子力政策の安全神話を打ち砕くことになった。しかし代替エネルギーが確立されてない現状では再稼働はやむを得ないと考える。したがってこの請願には反対である。

賛成討論 下川議員 絶対に安全だと言い切れない状況が原発再稼働には伴う。佐川町でもその影響を受ける可能性がある。美しいふるさとを後世に残すための選択をすべきである。よってこの請願に賛成である。

ここを 聞いてみた

議案質疑

提出議案に対して、議員から出された質問の主なものを紹介します。

国保

坂本議員 国保税は今後2年間は、一般財源投入で値上げは行わないとの認識でよいのか。
町民課長 それで間違いない。

ふるさと納税

松浦議員 寄附金から運営経費を差し引くことは違和感がある。
総務課長 ふるさと納税のトータルのお金で、ふるさと納税の運用等を行いたい。

中村議員 寄附金の中の経費の割合は
総務課長 経費に約55%かかる。



ふるさと納税のお返しの品々

マイナンバー制度

坂本議員 この制度には不安が広がっている。基本的な疑問に答え、住民への周知を徹底すべき。
総務課長 行政の効率化に役立つ。番号を記入しなくても受け付けられないことはない。
町民課長 個人番号カードの作成は義務ではない。再発行には手数料が必要。

賛否表(平成27年12月定例会)

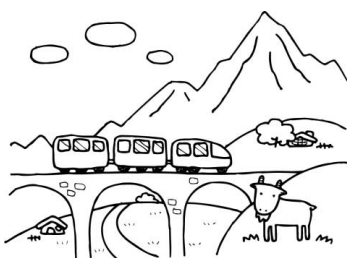
○:賛成 ●:反対 -:議長 欠:欠席

	下川芳樹	坂本玲子	邑田昌平	森正彦	片岡勝一	松浦隆起	岡村純正	中村卓司	永田耕朗	西村清勇	今橋寿子	徳弘初男	藤原健祐
平成27年度一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成27年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
佐川町ふるさと納税寄附金条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
佐川町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
佐川町環境美化条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
佐川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第5次佐川町総合計画の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
森林・林業政策の推進を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
安全保障関連二法(国際平和支援法、平和安全整備法)の廃止を求める陳情	○	○	●	○	●	●	○	○	●	●	○	●	-
伊方原発の再稼働を行わないことを求める請願	○	○	●	○	●	●	○	○	●	●	○	●	-
早期に佐川町道の駅建設を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

総合計画

坂本議員 障害者福祉推進で多様な障害者のためのグループホームなどの施設設立に積極的に取り組むのか。
健康福祉課長 行政として積極的に支援をしていく。

下川議員 来年度からどのように進めていくか。
町長 住民と協働して、10年間しっかり運営をしていきたい。



災害廃棄物処理計画 今後の見通しは

町民課長 29年度を目標に取り組む

松浦 隆起 議員



7人が町政を問う

ここが聞きたい

全国の自治体では、災害が発生したげれきの処理を適正・迅速に行うための「災害廃棄物処理計画」の策定が進んでいない。本町においての計画策定と災害廃棄物の仮置き場の現状と今後の見通しは。

麻田町民課長 本県は29年度までに全市町村が計画を策定することを目標としており、本町においても29年度までという目標を目指して取り組んでいきたい。

災害廃棄物の仮置き場は現在1カ所となっており、今後、計画策定を検討する中で、1カ所でするかどうかを検討し、決めていきたい。地域の公園や避難所となる公民館などへ設置可能なところもあるかと思う。

安否確認ボード 取り組むべきだ

町長 現時点では考えていない

災害発生時における迅速な安否確認は重要なことだ。その取り組みのひ

とつとして、家族の無事を周囲に知らせる安否確認ボードというものがある。災害時にこのボードをドアノブにかけることで、迅速な人命救助につながる。ぜひ、取り組むべきだ。

堀見町長 現時点では、取り組むことは考えていない。

横山総務課長 安否確認簿で必要な家を一目で確認できる。安否確認ボードは救助を必要としている世帯の迅速な支援につながる可能性があると考えており、今後の取り組みの参考としたい。



災害廃棄物仮置き場の万代鉱業跡地

ピロリ菌検査 取り組むべきだ

健康福祉課長 28年度より取り入れ検討

がん検診へのピロリ菌検査の導入について、3回にわたって質問しており、前回、取り入れない理由をいくつか答えをいただいた。これまで、約300万人がピロリ菌の除菌を行い、内視鏡検査で、胃がんが早期発見されている。こういった事実を踏まえたときに、本町で取り組まないことには大きな疑問を持っている。取り組むべきだ。

岡崎健康福祉課長 28年度よりセット健診において、胃がんリスクに関する検査をオプションとして取り入れていく方向で検討を進めている。



ピロリ菌検査でがん予防



坂本 玲子 議員

要介護1から 障害者認定を

健康福祉課長 研究し対応

要介護の認定を受ければ障害者認定を受けられる制度がある。佐川町では要介護3からだだが、他の市町村では要介護1から障害者認定を出している。同じ状態なのに市町

村によって違いがあるのはおかしい。

障害者認定をされる
と、税制上大きな優遇措置があり、所得税や住民税が安くなる。佐川町もぜひ検討を。

またそういう制度があることをわかりやすく住民に周知すべきだ。

岡崎健康福祉課長 佐川

町は要介護3から障害者認定を出している。今のところ変える予定はないが、他の市町村の状況を確認し、間違っているのであれば変えなくてはいいと思う。

住民へは広報で知らせたり、支援をする方にも制度の周知をお願いしている。なお、さらに研究し対応する。



健康ウォーキング I N加茂

健康づくりで 国保税引き下げを

健康福祉課長 対策を立てやっていく

国保税や介護保険料の引き下げのためには、健康づくりに力を入れることが大切だ。健康福祉課と町民課の連携はもちろん、機構改革も視野に入れ、データを生かした戦略的な取り組みが必要だ。

また住民のやる気を引き出す工夫、生きがいづくり等も考えてはどうか。

麻田町民課長 佐川町ではデータを生かした取り組みはできてない。先進的な情報を取り入れやっていく。またデータヘルス計画を立てやっていく。

岡崎健康福祉課長 人員の体制、配置も検討する。県が取り組むヘルスケアポイント制にも参加したい。

生きがいづくりでは、退職後の世代をターゲットにした取り組みが必要と思っている。

さまざまな対策をつましく組み合わせ、将来的な医療費抑制につなげていきたい。

水道・給水管の 耐震化を

産業建設課長 まずは本管の耐震化



水道本管の耐震化は進んでいるが

て給水管の耐震化を計画的に実施できないか。

渡辺産業建設課長 佐川町の本管の耐震化率は21%。まずは本管の方を耐震化していくことが先決だ。一般会計の事業には、給水管の耐震化に対応できるものがない。個人財産の給水管を公費で耐震化できないと思う。しかし、協働で水道事業を震災から守っていく取り組みは必要だ。

水道管で本管(町設置)と給水管(個人設置)がある。大災害が予想される今、本管の耐震化はもちろん給水管の耐震化対策も必要。災害の対策として、一般会計の事業とし

その他の質問

○高齢者の住宅リフォー
△制度充実を



森 正彦 議員

堀見町政 2年間の総括は

町長 住民とともに取り組んだ

堀見町長は就任して任期半分を経過した。2年間の総括は、堀見町長 まずは、職員
の意識改革と、行政と住民がいっしょになった町政運営に取り組んだ。

具体的な施策は、中学3年生までの医療費無料化、第3子以降の保育料無料化、集落活動センター、あつたかふれあいセンター、自伐型林業への取り組みを進めた。防災では、昨年の台風での経験も踏まえ、より一層の危機意識を持って取り組んでいきたい。

第5次総合計画では、住民の皆様の思いが詰まったすばらしい総合計画にまとまったと思う。来年度以降、この総合計画に基づき確実に施策を実施していきたい。



住民参加のまちづくりを目指して

地方創生事業 内容は

チーム佐川推進課長 雇用づくり等

地方創生事業の内容と推進体制はどうするか。また交付金の決定状況はどうか。片岡チーム佐川推進課長 総額9千262万円の交

付が決定している。内容は、自伐型林業を核とした雇用づくりと地域活性化事業に5千万円、移住促進、観光推進、牧野公園再生、地域づくり、ちいさな拠点づくり、子育て支援らの事業に3千262万円。総合戦略を策定した団体に交付される1千万円だ。佐川町は満額の交付額となっている。

推進体制は、現状の体制で進捗管理や事業の実施時期の調整できると考えているが、新しい取り組みが必要あればプロジェクトチームなどの組織編成も必要ではないかと考えている。

TPP大筋合意 その影響は

産業建設課長 米価の下落心配

また、町は農業従事者の高齢化の問題もある。今後の農業への対策をどのように考えるのか。渡辺産業建設課長 農水省の国内農業への影響の公表によると、米は輸入米の総量が増し流通量が増加することから、価格の下落が心配される。茶

TPP環太平洋連携協定が大筋で合意された。TPPの合意が発効された場合の佐川町の農業に与える影響をどのように捉えているか。

梨、イチゴ、トマト、ピーマンへの影響は限定的だが長期的には価格の下落、酪農は長期的には加工原料乳の下落、こういった影響が懸念される。対策としては、売れる米作りや、酪農家との連携による飼料米の普及、園芸作物では有望作物の生産拡大に努め、ブランド化も図る。さらに、経営面では企業的経営農家の拡大や集落営農の普及、将来的には法人化も必要だと考えている。



酪農への影響が心配されるTPP



中村 卓司 議員

仁淀川上流の ごみ再処理場計画は

町長 事実を確認する

仁淀川上流久万高原町に、ごみの再処理場の計画予定があるが、その情報を町はどのように把握しているのか。またそのことについてどのような考えがあるのか。

堀見町長 しつかりと事実を確認した上で取り組んでいく。情報のアンテナを高くして感覚よくすることが大事だと考えている。事実を把握できない時点では軽率な言動は控えたい。

伊方原発 再稼働どう考える

町長 地元の意見を尊重

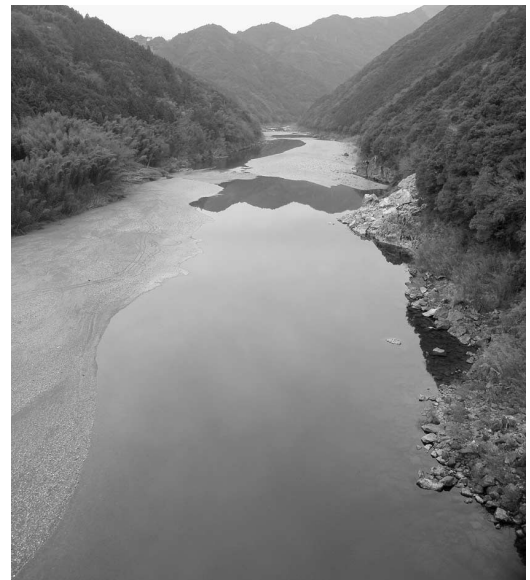
福島原発事故が起き国や県は事故後の対策を実施しているが、地域の住民は大変な思いで過ごしている。それにもかかわらず、いまだに高濃度の汚染水は大量に発生し、一部が太平洋に流れ出ているのが現状だ。このような事故を二度と繰り返してはならない。

伊方原発は活断層上にあることから南海大地震が起きれば大事故になるといわれている。またこの原発は老朽化のため地

震に耐えられないともいわれている。事故を起こせばわが町も大変な被害を受ける。

そこで町として再稼働を認めないような請願等何らかのアクションをする必要があると思うが、町の考え方は。

堀見町長 地元の自治体や愛媛県が下した決断を尊重したいと考えている。



仁淀川の清流はみんなの宝

防災対策 佐川での取り組みは

町長 議会、住民とともに考える

今年関東では大水害が発生した。佐川町でも40年前5号台風で同じような大水害に見舞われた。

県ではタイムラインをつくり、防災対策に取り組んでいる。佐川町では町内の河川で心配される場所の予防対策は取っているのか。

渡辺産業建設課長 町内の河川は県河川ではあるが、越知土木事務所と連携を取り、地元の自主防災組織や自治会、住民の方々との話し合う場をもつ、防災対策を県と町が一体となって取り組んでいく。



山を越えてやってくるかも 放射能

その他の質問
○高齢者対策について



下川 芳樹 議員

県河川 日下川・長竹川への対策は

町長 取り組みを進める

日高村では、昨年の水害を受け国、県と「日下川総合内水対策計画」を策定し河川への対応を進めている。

佐川町は加茂地区の水

害に対し、県河川である日下川・長竹川への対策をどのように進めるのか。

渡辺産業建設課長 県河

川といえども町内にある。住民の意見を聞き、県に伝える。県とも連携し、土砂を撤去し通水断面の確保に取り組んでいく。

堀見町長 日高村と佐川町がこの河川の考え方で異なるということがあってはならない。町として住民の命、財産を守る取り組みを進めて行く。



土砂や葦で埋まっている日下川

町独自の 教員採用はできないか

町長 財政的な面含め難しい

新しい総合計画では、文教のまち佐川を確実に継承し、佐川の未来を担う人材を地域ぐるみで育てるとの方針だ。

町外への人事異動が無く町独自の教育に取り組むよう、町独自の教員採用はできないか。

川井教育長 町独自で県費負担教員と同様に学級担任などすることは、一定要件をクリアすれば可能だが県内には例がない。

堀見町長 一つの学校で教職員として仕事ができる環境ができれば素晴らしいが、財政的な面も含めて難しい問題がある。

地域で活躍する住民に 町民賞を

町長 検討し決めたい

町の将来や住民の幸せを自分ごととして考え、一生懸命に活動されている皆さんは町の宝である。本人がやりがいや生きがいを感じながら、次世代に継承するために町民賞を授与してはどうか。

横山総務課長 平成24年度に佐川町功労者表彰規程を制定している。制度を十分に活用していない

その他の質問
○中古ハウスの活用について

ので、今後は4年に1回の間隔で表彰していく。
堀見町長 11月の庁議では4年に1度の目安で表彰するとしたが、改めて庁議の場で町民賞の運営を検討し決めたい。



頑張る人たちに町でも表彰を



今橋 寿子 議員

牧野公園は行政と住民との協働事業の1つであるが、これからの4、5年に向けての具体的な取り組みは。

牧野公園リニューアル事業 具体的な取り組みは

チーム佐川推進課長 整備進んでいる

片岡チーム佐川推進課長
これまでは育てることを中心に取り組んできたが、これからは情報発信の強化と観光コンテンツの開発を進めていく。
同時に佐川町の楽しみ方の1つとしてまるごと植物園と位置づけ、植物ガイドの育成や四季折々のイベントの開催などをして仲間を増やしながらか協働のまちづくりをしていく。

襟野々駅の 駐輪場検討を

産業建設課長 駐輪場設置を検討

襟野々駅に駐輪場がないため交通の妨げになっている。当事者のマナーは当然であるが、町有地の一部を駐輪場にできないのか。
渡辺産業建設課長 襟野々駅の東隣に町有地がある。そこを駐輪場としたい。利用者と通行者の安全を確保できるように利用しやすい施設にしていく。



安全のために駐輪場設置が望まれる

男女共同参画 進捗状況は

総務課長 実施計画すすめる

去年の10月に男女共同参画基本計画ができ全戸に配布された。実施計画の進捗状況はどうなのか。計画倒れにならないために、スピード感が必要ではないのか。
横山総務課長 実施計画の素案をもとにして、今月12月15日に佐川町男女共同参画推進委員会を開催し、事業内容の精査、事業実施について課題を見直し、実施計画づくりを進めていく。

食育の取り組みは

教育長 しっかり取り組む

食育は大切だ。給食センターは子供たちや働く家庭にとってなくてはならない施設である。また三食の中の一食という大切な役割を持っている。地産地消も含めこれからの取り組みは。
川井教育長 食生活改善推進協議会の皆さんや栄養士が各小中学生に食育の指導をしている。これからふるさと教育を含めて地産地消もしっかりと取り組んでいきたい。



給食は子どもを守り育てる



岡村 統正 議員

公用車の 管理マニュアル作るべき

総務課長 適切なものをつくる

公用車の運用管理はど
うなっているか。
エスティマのキズ、ヘ
こみが4カ所ある。キズ
つけた該当者がいないと
は大変に遺憾だ。

マイクロバスの物入れ
が壊れている。いつ壊れ
たのか。その報告があっ
たのか。また、ヘッドレ
ストのレースの汚れも目
に余るものがある。町外
からのお客様を乗せるこ
とからも、清潔を保って
おくべきだ。

横山総務課長 エスティ
マは、職員が使用してい
る。キズについて、職員
に確認したが情報が無
い。

マイクロバスは運転日
報で運行後記入してもら
っている。事故、異常が
あった場合は総務課に報
告することになっている
が、毎回チェックはでき
ていない。

運転日報、車両チェッ
クが大きな役割を果たす
ことから、早急に管理
マニュアルチェックシ
ートをつくる。

ごみ問題住民訴訟裁判 最高裁の判決は

総務課長 町の全面勝訴が確定



公用車の管理徹底を

この質問は、平成23
年12月議会で質問した経
過がある。
係争中のごみ問題の訴
訟で最高裁の判決はどう
なったのか。

横山総務課長 一般ごみ
処理裁判で高知地裁では
敗訴、高松高裁では町が
勝訴した。原告が最高裁
に上告していたが、この
10月20日に町の勝訴が
確定している。

ごみ問題住民訴訟裁判 費用の請求を

総務課長 請求は困難

当初からの費用は、概
算でどれくらい掛かって
いるのか。

町税全般の滞納の収納
に取り組み、成果が上が
っている。住民サイドか
ら見た場合には、判決が
出た以上、実質費用の損
害賠償を求め費用請求す
べきだ。

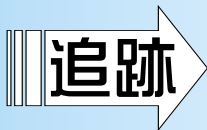
今後、毅然とした態度
で臨んで対処すべきだ。

横山総務課長 裁判1件
の費用で、170万円ほ
どとなっている。

請求するには裁判を起
こす必要があるが、対象
は実費経費であり弁護士
費用等は含まれず、勝ち
取れる金額は数千円程度
にしかならないことから
現実的に難しい。
堀見町長 訴訟された場
合は、肅々と対応してい
く。



ごみ問題、裁判費用は税金から



あれはどうなったが？



放課後児童クラブ、教室の充実を（平成26年6月定例会）

地域間格差のない放課後児童プランにすべきだ。学校と支援員等との連携、学校施設の開放、長期休暇（夏、冬、春休み）の開設等充実すべき。
（坂本議員）

教 育 長 弁 答

長期休暇の開設実施

平成27年度から放課後児童クラブは夏、冬休みの開設がはじまっている。また、開所時間が改善された。

どう
なった

検討する

施設面での解決と支援員の確保が課題になる。学校以外の施設利用も考え、春休み、冬休みの開設については、検討する。

あの質問のゆくえ

No.36

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は3月4日（金）午前9時
開会予定です。傍聴においでください。

議会広報編集委員会

※わかりやすい紙面にと心がけています。
読後のご感想、ご意見をお寄せください。

委員長	森 正彦
副委員長	片岡 勝一
委員	邑田 昌平
委員	坂本 玲子
委員	下川 芳樹

議員に選んでいただいてから2年
余りが過ぎた。広報委員として議会
だよりを発刊しつつ、考えることが
ある。町民の皆さんに町や議会の運
営について、もっと興味を持っても
らいたい。自分たちの町の進み方に
ついて関心を持ってもらいたい。そ
んな思いで議会広報の編集に臨ん
できた。

今年から18歳に選挙権が引き下
げられる。ぜひ、若者から高齢者ま
で政治に関心を持ち、いっしょに佐
川の未来をつくっていかれたらと願
う。

下川

編 集 後 記

地域で がんばる



北添さんと田村さん

わがまち佐川には、地域のために活動している組織やグループがあります。その皆さんにスポットを当て紹介します。今回は、尾川地区の集落活動センター「たいこ岩」を拠点に活動している「キッチンやまぼうし」の田村弘子さんたちにお話を伺いました。

キッチンやまぼうし

— ウワー 忙しそうですね。

出来たてをはよう届けたいですねー。

— どんな所へ届けていますか？

地域のお年寄りを中心に届けています。一般の方にも販売をしています。評判が良くて。

— 品数が多いですね。しかも1パック百円くらいで利用者はいくつも買えて楽しみにしているのでは。

品数は毎回20品目以上です。毎週火曜日にやっています。もっと回数を増やしてほしいと言われています。そのほかに地区内外からの弁当や皿鉢料理の注文にも応じています。

— メンバーは何人ですか？

7人でやっています。調理から配達・販売まで大忙しです。

— どうしてこの活動を始めようと思ったのですか？

高齢者が多い地域で、買い物にもなかなかいきません。そんな高齢者においしい食べ物を届けると同時に、見守ることができるということで始めました。

— 楽しそうですね。

そりゃーもう、「おいしい」「ありがとう」と皆さんに喜んでもらえるのがうれしい楽しいですよ。



やまぼうしのメンバーの方々

「キッチンやまぼうし」の皆さん、イキイキ、テキパキ、本当に楽しそうでした。ますますの活躍で地域を見守っていただくさいね。ありがとうございます。

あなたの周りで、佐川町の元氣のために頑張っている「組織やグループ」をぜひ、ご紹介ください。



できた！これから販売だ！